No.	賞	部門	住所地	氏 名	作品
1	宗祇常縁賞	短歌	 白鳥町	松井陽介	輝きて群れ立つ都市のビルに似て水張りし田 の誇らしげなる
2	郡上市文芸祭賞	現代詩	京都府	酒井明	第三の声
3	 郡上市文芸祭賞	俳句	 白鳥町	三島睦子	 手順みな頭に入り雪囲
4	郡上市文芸祭賞	川柳	千葉県	小林容子	小走りに夢の万博米寿父
5	郡上市文芸祭賞	狂俳	池田町	髙﨑美松	 謙 虚 謹厳の道確と踏む
6	郡上市長賞	現代詩	中津川市	西尾嘉浩	影武者の行進
7	郡上市長賞	短歌	東京都	芦田晋作	 人生は同じ車両にいてもなお同じ旅とは限ら ないから
8	郡上市長賞	俳句	白鳥町	佐藤奈々子	開け放ちひとりに余る夏座敷
9	郡上市長賞	川柳	長崎県	原田哲也	ドア開けて始まる世界探す夢
10	郡上市長賞	狂俳	岐阜市	服部乃梨子	爽やか 新涼兆し風戦ぐ
11	郡上市教育長賞	現代詩	静岡県	尾内甲太郎	紙の駒
12	郡上市教育長賞	短歌	池田町	日比野章子	山椒の葉ポンと叩けば香るよに此処に居るの と伝えてみたい
13	郡上市教育長賞	俳句	八幡町	筒井弘子	誰彼となく知らせたき初桜
14	郡上市教育長賞	川柳	愛知県	藤井益子	携帯で孤独の侘しさにも変化
15	郡上市教育長賞	狂俳	八幡町	伊東惠子	愛しい 繋がる命孫を抱く
16	郡上市文化協会長賞	現代詩	愛知県	野口敬生	陽だまりの町
17	郡上市文化協会長賞	短歌	千葉県	林英美子	ひとつずつ出来なくなっていく母とひとりで 旅に出かける娘と
18	郡上市文化協会長賞	俳句	八幡町	井藤澄子	テーブルを花下に設へ待ちくれし
19	郡上市文化協会長賞	川柳	滋賀県	廣木信子	来年も生きるつもりで備蓄米
20	郡上市文化協会長賞	狂俳	関市	丹羽益子	愛しい 子供に返る母支う
21	郷土文化誌 「郡上Ⅱ」賞	現代詩	白鳥町	猪俣訓子	夢チャンネル
22	郷土文化誌 「郡上Ⅱ」賞	短歌	八幡町	中島哲平	陣痛が始まる君へ急ぐ道石ころまでも光って 見えた
23	郷土文化誌 「郡上Ⅱ」賞	俳句	高鷲町	山田美奈子	買ひ足して予報の雪に備へけり
24	郷土文化誌 「郡上Ⅱ」賞	川柳	八幡町	池戸禎恵	定規など要らぬ米寿のクラス会

No.	賞	部門	住 所	氏 名	作 品
25	郷土文化誌 「郡上Ⅱ」賞	狂俳	八幡町	山内容子	謙 虚 積む陰徳の功温い
26	入 選	現代詩	佐賀県	古賀由美子	金メダル
27	入 選	現代詩	愛知県	横井美幸	御神木
28	入 選	現代詩	茨城県	篠﨑雄一郎	星影
29	入 選	現代詩	美濃加茂市	桜井五月	木曽川
30	入選	短歌	美並町	永井八重子	ジャガイモは何度掘っても手探りで収穫まで は子育てに似る
31	入選	短歌	岐阜市	川出香代子	戦争を知らない世代と言われこし夫の看護は 小さき戦い
32	入選	短歌	佐賀県	古賀由美子	父の本付箋がいっぱいついている幾度も開く 会える気がして
33	入選	短歌	飛騨市	横山美保子	初めての祭獅子舞う少年は足首の紐ぎゅっと 締めたり
34	入選	短歌	愛知県	森下貞子	カルガモの親子の様に幼児を四人引き連れ行 <母は逞し
35	入選	短歌	兵庫県	片牧結夢	電車乗りふと窓の外見つめれば大好きな街が 広がっている
36	入選	短歌	兵庫県	岡田莉愛	サヨナラにかなしさなんてひつようないまた あうときにえがおのはなを
37	入選	短歌	兵庫県	堀音々	海の波いったりきたりゆれながら子どもと一 緒に遊んでる
38	入選	短歌	兵庫県	中川聖菜	紅葉のきれいな季節ながめつつ清水寺とお茶 のぜいたく
39	入選	短歌	兵庫県	岡本莉奈	高校の門をくぐれば入学だ桜の花びらひらひ ら落ちる
40	入選	短歌	愛知県	竹内美穂	ぽん菓子をかりりと噛めば浮かびくるあの駄 菓子屋のバアちゃんの顔
41	入選	短歌	岐阜市	舟坂均	言い負けて一人むなしく星を見る集く虫の音 更ける秋の夜
42	入選	短歌	岐阜市	湊口順子	満開の桜に棲まふ宿木の今が一番幸せと見ゆ
43	入選	短歌	群馬県	外丸幸子	聞くほどにほっこりとなる方言をのせてゆき かふバスターミナル
44	入選	短歌	愛知県	添島貴美代	父酔いて「昔の俺はもてたんだ」これを合図に 御開きとなる
45	入選	短歌	京都府	岸野由夏里	いつか月まで歩いていくかもしれぬまた立ち 上がるリハビリの子ら
46	入選	短歌	埼玉県	藤村光子	菜の花の海の広がるその中をおもむろに行く 二両の電車
47	入選	短歌	兵庫県	小松莉桜	雨の降る静かな街に咲く傘が少し心を踊らせている
48	入選	短歌	静岡県	杉山博代	穏やかな人になりたい父がまた同じ話を何度 もしてる

No.	賞	部門	住所	氏 名	作品
49	入 選	短歌	高山市	藤垣誠	春を知らせる風が乾かす今日までの君が流し た涙のすべて
50	入選	短歌	高山市	松井徹朗	縄文に生まれし屋久の大杉をボキリと折って 台風去りぬ
51	入 選	短歌	東京都	田中正博	生きてゆくことが難しこの世界満ちて欠けゆ く欠けて満ちゆく
52	入 選	短歌	池田町	渡邉冨士子	カンランが大きな口あけ笑ってる寒さ暑さの 自然の中で
53	入 選	短歌	大阪府	馬場和義	出征の「万歳」の声にかき消さる母には聞こえ る「かあさん」の声
54	入 選	短歌	富山県	岡野満	深刻な話を語るイヤリング縦に揺れたり横に 揺れたり
55	入 選	短歌	愛知県	中村京子	パンジーの終わりゆく花深々とおじぎしてお り朝の光に
56	入 選	短歌	神奈川県	井上靖	常日頃祖母の力で開くように窓も扉も閉める ふるさと
57	入 選	短歌	大阪府	篠孝司	「残りもの」なんて言わずに気の利いた「最後 のひとつ」と言えば幸せ
58	入 選	短歌	兵庫県	野崎眞奈美	A I はこの戦争の終わらせ方を習っていない、わからない。
59	入 選	短歌	東京都	嶋田優里	さくらんぼ分け合って食べたあの日から僕ら はずっと二人で一つ
60	入 選	短歌	青森県	大船美穂	飲み終えたラムネの中のビー玉が奏でる音で 呼び寄せる夏
61	入 選	短歌	長野県	穂苅真泉	暮らす気などないが仲秋の月冴えて双眼鏡に のぞく月面
62	入 選	短歌	神奈川県	加藤雄三	喧騒と怒号で賑わう居酒屋に遠く流れるジョ ンのイマジン
63	入 選	短歌	愛知県	石田賢吾	炎天下ブルーシートに梅を干す美味しくなれ とひとりごちつつ
64	入 選	短歌	兵庫県	山本みさよ	ただ風にこの身を任せて来し一世ゆらゆらと 漕ぐ夜の鞦韆
65	入 選	短歌	東京都	吉田佳泉	これ聴くとなぜか泣き止む我が娘七両三分の 春駒春駒
66	入 選	短歌	福岡県	森尾広志	幸せな住宅街の夕暮れはピアノの音とカレー の香り
67	入 選	短歌	埼玉県	成本孝宏	待ちかねし郵便物かポスト前のバイクにあは せひらく隣室
68	入 選	短歌	中津川市	西尾房子	米足らぬ子ども食堂新メニュー「ライオンパン」に子らかぶりつく
69	入 選	俳句	高山市	楢本洋子	頼らるることの嬉しくあたたかき
70	入 選	俳句	愛知県	鈴木寛治	家毎の暮しも覗き燕飛ぶ
71	入 選	俳句	高鷲町	和田和美	主病む庭の闇濃く虫鳴ける
72	入 選	俳句	高山市	鈴口富彦	肥沃なる土に感謝し耕せる

No.	賞	部門	住 所	氏 名	作品
73	入 選	俳句	愛知県	斉藤浩美	手術痕ちらりと見えて水着の子
74	入 選	俳句	白鳥町	河合すう子	古草や農園借りる人もなく
75	入 選	俳句	高山市	大下雅子	店番を客に委ねて鮎を釣る
76	入選	俳句	福岡県	牛尾妙子	祖父のふる鍬の重さや山笑ふ
77	入選	俳句	愛知県	東野佐惠子	草茂る小さき菜園もてあまし
78	入 選	俳句	愛知県	早瀬雅子	負けん気の子らに加はり歌留多とり
79	入 選	俳句	中津川市	西尾嘉浩	純白のカーネーションを子ら供ふ
80	入 選	俳句	高山市	田近美津子	拍手に神杉の蝉とび立ちぬ
81	入 選	俳句	八幡町	本多八重子	捨畑に節分草の蘇り
82	入 選	俳句	白鳥町	蓑島みさ子	春昼の眠気逆らふ事出来ず
83	入 選	俳句	愛知県	山口勝行	世話好きを通せし母の墓洗ふ
84	入選	俳句	愛知県	中間玲子	丁寧に鉛筆削り初句会
85	入 選	俳句	白鳥町	澤原八千代	被災地の火事復興を拒むかに
86	入 選	俳句	岐阜市	鷲見桂子	再会を喜び合ひし春祭
87	入 選	俳句	白鳥町	日置砂代子	対岸の白の目を引き朴の花
88	入選	俳句	岐阜市	長谷部千惠	大寒のぽかぽか陽気とは意外
89	入選	俳句	高山市	原田尚子	峡深く父祖の遺せし田を植うる
90	入選	俳句	高山市	古橋八恵子	古雛の調度の塗りの褪せてゐず
91	入 選	俳句	福岡県	西村英俊	ひぐらしの余韻に暮るる峡の家
92	入選	俳句	愛知県	重留紘治	限りある余生大事に菖蒲の湯
93	入選	俳句	可児市	綿田征夫	無住寺の屋根ふりつもる棕櫚の花
94	入選	俳句	中津川市	田口英雄	疏水に板伏せて戸毎の冬構
95	入 選	俳句	美濃市	平野絢子	予定なき日々の続きて老長閑
96	入 選	俳句	白鳥町	猪俣通子	珠のごと抱きし嬰児あたたかき

No.	賞	部門	住 所	氏 名	作品
97	入選	俳句	美濃加茂市	伊藤可代子	病院へ向かふ車へ若葉風
98	入選	俳句	八幡町	上田芳子	家中をピリピリさせて受験の子
99	入選	俳句	八幡町	小林与志夫	卒業子スーツ姿のよく似合ひ
100	入選	俳句	高山市	佐藤智子	煤逃げの隙を与へず妻の指示
101	入選	俳句	長崎県	八木花栗	もてなしはこの一望の麦の秋
102	入選	俳句	高山市	鴻巣眞美子	降りそそぐ光りを返し春の川
103	入選	俳句	大和町	小倉つゆ子	落花始まり神苑の大桜
104	入選	俳句	白鳥町	曽我とし子	治癒力の失せて長引き夏の風邪
105	入選	俳句	高山市	高原八重子	声明の朗々としてお彼岸会
106	入選	俳句	大阪府	貝田ひでを	保育士と母を待ちつつしやぼん玉
107	入選	俳句	茨城県	久信田史夫	花冷の風に雀の流さるる
108	入選	俳句	大分県	小野智輔	疲れ鵜に囚徒の如き脚の枷
109	入選	俳句	東京都	若林誠二	和菓子屋の消えたる町や雛飾る
110	入選	俳句	神奈川県	竹澤聡	ぎこちなき子や初めての盆踊
111	入選	俳句	東京都	廣田陽朗	まっしろな羊の群れや芝萌ゆる
112	入選	俳句	熊本県	槻木俊彦	母は今ぬり絵に夢中敬老日
113	入選	俳句	静岡県	尾内甲太郎	こどもらの声は揚羽の黄を追へり
114	入選	俳句	大阪府	大西陽子	老いの身に慣れし道あり風薫る
115	入選	俳句	岐阜市	武井迪子	遠足の子に名将の居住跡
116	入選	俳句	滋賀県	石川毅	数式を解く手の止まり蝉時雨
117	入選	俳句	愛知県	紅紫あやめ	揺れ動く仮設トイレや春嵐
118	入選	俳句	東京都	蛭田恒美	重にして娘に持たせ豆ご飯
119	入選	川柳	宮崎県	荘子隆	刀折れ矢も尽きました物価高
120	入選	川柳	東京都	若槻泰治	トランプで決まる世界の決まり事

No.	賞	部門	住 所	氏 名	作品
121	入 選	川柳	岐阜市	辻比呂子	日々猛暑おびえ動けぬ老いの夏
122	入選	川柳	静岡県	石田昇	冷房は入れたかと問う子の電話
123	入選	川柳	東京都	安田功二	定年後夢見た「時」を持て余す
124	入 選	川柳	福島県	菅野八恵子	百歳へ寿命を伸ばす推しが増え
125	入 選	川柳	岐阜市	金子秀重	宇宙人怖い地球を覗かない
126	入 選	川柳	東京都	小林和子	自動車も空を飛ぶんだ鯉のぼり
127	入 選	川柳	岐阜市	舟坂均	我が庭の花壇に茄子が同居する
128	入 選	川柳	神奈川県	井口泰子	魂が海をさまよう 14 年
129	入 選	川柳	美並町	高橋安弘	「頑張りや」孫に言われて職さがし
130	入 選	川柳	大垣市	武山博	政治課題を見事に暈す多数決
131	入 選	川柳	広島県	黒飛義竹	子の描くみんな丸顔平和な世
132	入 選	川柳	愛知県	山田和彦	交差点足踏みさせるにわか雨
133	入 選	川柳	埼玉県	岡田不二夫	人生は知恵と補修で生き延びる
134	入 選	川柳	埼玉県	坂井傑	せつなさの中に君への恋がある
135	入 選	川柳	各務原市	髙橋芳子	車椅子だから世間がよく見える
136	入 選	川柳	埼玉県	中野弘樹	観るうちに拍子とりだす下駄の先
137	入 選	川柳	岐阜市	丹羽三七九	曽孫の見るテレビ漫画に興味持つ
138	入 選	川柳	東京都	田中正博	世界地図描いた真顔の新生児
139	入 選	川柳	可児市	近澤早苗	爽やかな五月のそらは母の空
140	入選	川柳	中津川市	西尾房子	肩こりのばあちゃん口はこらないの
141	入選	川柳	兵庫県	多田悠太	幼な子がカード払いのおままごと
142	入選	川柳	福井県	中川潔	一人より二人のほうが独りの日
143	入 選	川柳	埼玉県	田島瑞生	生きていてよいのだと知る一人旅
144	入 選	川柳	埼玉県	伊藤一男	移住した息子元気に踊る街

No.	賞	部門	住 所	氏 名	作品
145	入選	川柳	白鳥町	猪俣訓子	朝の道行き交う車デイケアー
146	入選	川柳	福岡県	森尾広志	老人と老人席を譲り合う
147	入選	川柳	兵庫県	大田瑠莉愛	音楽室みんなふるえるオペラ声
148	入選	川柳	兵庫県	飯田優磨	帰り道気持ちを言えずまた明日
149	入選	狂俳	美濃加茂市	井藤あゆ子	爽やか グラスのソーダ泡はしゃぐ
150	入選	狂俳	各務原市	野田智恵子	愛しい 抱く慕情を月に吐く
151	入選	狂俳	愛知県	横井美幸	謙 虚 自然敬い手を合わす
152	入選	狂俳	美濃市	纐纈久雄	爽やか 秋澄む空に城映える
153	入選	狂俳	滋賀県	石川毅	愛しい 抱いて初孫目が笑う
154	入選	狂俳	各務原市	石屋良光	謙 虚 悟りの初心道歩む
155	入選	狂俳	御嵩町	小栗眞理子	愛しい 真白き恋の花芽吹く
156	入選	狂俳	美並町	此嶋栄	爽やか 名月凛と大気澄む
157	入選	狂俳	美並町	此嶋和子	謙 虚 驕らぬ姿人が寄る
158	入選	狂俳	白鳥町	猪俣訓子	愛しい リハビリ励む妻を守る
159	入選	狂俳	揖斐川町	清水亮鳴	謙 虚 家庭の躾行き届く
160	入選	狂俳	中津川市	西尾房子	愛しい 子供食堂米足りぬ
161	入選	狂俳	八幡町	武藤清子	謙 虚 初心忘れず襟正す
162	入選	狂俳	岐阜市	谷藤典子	愛しい 小さな命お腹蹴る
163	入 選	狂俳	岐阜市	舟坂均	謙 虚 自我を押さえて和を保つ